

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2025年 2月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2025年 2月 1日発行 通巻381号

会代表者・県連理事・県連役員合同会議

2025年3月1日(土)12:30 受付開始

船橋市塚田公民館 第1&2集会室

2月号 目次



ページ

- 02…目次
- 03…1月理事会報告
- 08…**合同会議開催案内**
- 09…山行報告1：ネパール：アマダブラム遠征（ちば山の会）
- 14…山行報告2：インドネシアの登山の魅力とお勧めの山々（山の会「岳樺クラブ」）
- 23…山行報告3：石城七峰縦走大会～チャレンジコース～（ちば山の会）
- 26…山行報告4：忘年山行 御嶽山・雨引山と明野温泉（市川山の会）
- 28…山行報告5：三浦アルプス（茂原道標山の会）
- 30…山行報告6：房総ハイキング（勝浦ウォーキング）（ハイキング委員会）
- 33…行事報告：会設立25周年記念誌発行（まつど遠足クラブ1年さくら組）
- 35…**行事案内1：「楽しく学ぼう！筋トレと栄養」講習会（女性委員会）**
- 36…**行事案内2：磯根浜クリーンハイク（自然保護委員会）**
- 37…**行事案内3：広沢寺岩場清掃集会ご協力をお願い（広沢寺の岩場を守る会）**
- 39…やまたびの思い出：バリ島サンライズトレッキング（県連海外登山下見）
- 40…予定表（2月・3月）

<行事案内> 教育遭難対策委員会 p.7、海外委員会 p.13、ハイキング委員会 p.32

個人情報があるので取り扱いには注意して下さい。

『山行報告』や**『行事報告』**などの投稿をお待ちしています！

その際の『書式』は、可能な限り次の通りでお願いします。

ワード、A4 縦、横書き、MS 明朝、12 ポイント、余白：上下左右各 25mm
写真などを挿入しても、別にお送りいただいても結構です。

『表紙用写真』も募集しています！（写真説明を添えてください）

毎月 **20 日頃**を目処にメールでお送り願います。

<送付先> 機関誌委員会:安彦秀夫 mt25hm4abichan49@gmail.com

<表紙写真説明>

恒例の『房総ハイキング』は、JR 勝浦駅を起点・終点として、1 月 25 日(土)に参加者 59 名(8 会)が寒さに負けずに皆元気に歩きました。

歩き始めて間もなく、『かつうらビッグひな祭り』会場の一つの『遠見崎神社石段』に『雛』のように勢ぞろいした参加者です。一足早い『雛段飾り』でした。

今年は、2 月 22 日(土)～3 月 3 日(月)に『ひな祭り』が開催されるそうです。(編集子)

2025年1月16日（木）千葉県連理事会議事録（確認用）

荒井（山の会「岳樺クラブ」）作成

日時 2025年1月16日（木）19:00～20:30 オンライン

参加者 県連加盟各会理事、役員

司会：野田、 書記：荒井理事（岳樺） 2月前田理事（かがりび）

県連理事	×	松宮（市川）	○	前田（かがりび）	○	高橋（岳人あびこ）
○ 横山（ちば山）	○	永尾（ちば山）	○	五木田（こまくさ）	○	羽鳥（東葛）
○ 酒井（船橋）	○	田中（ふわく）	○	佐藤（茂原道標）	○	渡邊（松戸）
○ 内藤（まつど遠足）	○	小林（山翠会）	○	鈴木（らんたん）	×	戸石（民医連）
○ 荒井（岳樺）						
県連役員	○	野田（理事長）	○	細村（会計）	○	広木（女性）
○ 菅井（自然保護）	○	伊東（教遭）	○	安彦（海外機関紙）	○	田中（ハイキング）
全国連役員	×	石川（副理事長）	○	山本（理事）		

○：出席、×：欠席 理事と役員が兼務の場合は両方に記載

打合せ議題

1. 理事長挨拶（野田）

皆様あけましておめでとうございます。本年も県連活動にご協力宜しくお願い致します。各地で寒波襲来による大雪となっています。雪山に行かれる場合には十分注意して行くようにお願いします。

2. 役員会報告（野田）

1月9日（木）オンライン役員会 19:00～21:10

- 1) 2025年3月1日合同会議の準備について
- 2) 2025年度活動方針協議
- 3) その他

3. 全国連理事からの連絡・情報提供等

- 1) 石川 昌 副理事長 欠席
- 2) 山本尚徳 理事 特になし。

4. 各委員会報告

1) 教育遭難対策委員会（伊東）

- ① 「ちばニュース1月号」でもお知らせしましたが、昨年、クライミング事故が5件も発生しています。

クライミングをする方は下記 URL を参照して、「クライミングは危険を伴うスポーツであること」を再認識してください。

<https://freeclimb.jp/activities/safety/#own-risk>

（日本フリークライミング協会）

②12/23 教遭委員会にて今年度計画を話し合い

昨年と同様なイベント+雪山訓練（2026年2月か3月）としました。
詳細は今後検討。

2) 自然保護委員会（菅井）

- ・海岸プラスチックゴミクリーンハイク「磯根浜」4/12（土）、予備日：13日
- ・今年度も各会でのクリーンハイクを積極的に実施して頂きたい。
- ・委員長交代の準備 ⇒ 来年度交代または副委員長を選任したい。

3) ハイキング委員会（田中）

- ・2025年1月25日（土）第38回房総ハイキング（勝浦ウオーキング）
準備状況報告 参加申し込み者：57人（1/16時点）
- ・ウイークデー山行 5/19（月）洞庭湖（関東ふれあいの道14）予定

4) 組織委員会（野田）

- ・委員会活動状況の調査など、2024年度の計画に沿って活動中。
（今後役員会、理事会の意見を取りこみまとめる予定）
各委員会委員長に、今年度活動状況一覧表への追記を依頼します。2/末頃

5) 女性委員会（広木）

- ・3月8日（土）13:00～ ワンコイン講習会（講師：石田先生）予定
船橋市西部公民館 日常生活の中での筋トレ他

6) 海外委員会（安彦）

- ①委員会開催：12月26日（木）19:30-21:00（Zoom）。5名出席（2名欠席）
 - ・2024年の活動確認
→委員会開催4回、韓国ハイキング実施16名、全国海外山行交流集会参加4名
 - ・新年度の海外山行企画 秋に韓国ソウル近郊の山
 - ・委員会開催：原則偶数月第4木曜日 19:30-21:00（Zoom）
- ②全国連盟海外委員会（委員：安彦）
 - ・委員会開催：毎月第2火曜日 19:30-21:00（Zoom）
 - ・「JWAF journal」に委員会報告を投稿（委員5名の輪番制）
- ③海外山行計画書を必ず全国連盟海外委員会に提出して下さい（メール可）。

7) 機関紙委員会（安彦）

- ①『ちばニュース』関連
 - *『実態と改善のアンケート調査』と『投稿依頼』の方法について継続検討中。
→アンケート設問内容の再確認、調査方法は基本Webで実施予定。全会員対象
→これまでの投稿実績を参考に各会に投稿をお願いする（理事会の場合など）。
 - *『1月号』を1月1日に、各会代表者・県連理事・県連役員にURL配信。
各会からの山行・行事報告などに多くのカラー写真を挿入したことに容量が大きく（約8MB）なったため。→問題があれば具体的に指摘をお願いします。
※原則、配信後数日以内に県連ホームページにアップされます。

*表紙用写真、山行報告、行事報告などの投稿を引き続き継続募集中。

②次回の委員会を1月23日(木) 19:00-21:00 開催予定 (Zoom)。

話し合いテーマは、アンケート調査方法(設問、実施時期・期間・方法など)、今後の委員会活動全般についてなど。

③ちばニュース2月用原稿を次の4会に依頼しました。投稿をお願いします。

ふわくハイキングサークル、まつど山翠会、山の会「岳樺クラブ」、松戸山の会

5. 役員会より(野田)

1) 3月1日の合同会議の準備をお願いします。

①概略スケジュール △:理事会

10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月
	資料作成				
△	△	△	調整・確認	各会事前確認	2月理事会承認
		対面理事会	△	資料発行	印刷
					▲ 3/1 合同会議

議案書は現在役員会で作成中。

②日 程 2025年3月1日(土) 会場 12:00~18:00 (会議 13:00~16:00)

③場 所 船橋市塚田公民館 集会室 1、2

④各会への開催案内 1月理事会案内時に発行済み。(添付資料参照)

⑤出席者の確認をお願いします。会代表が、理事、役員と重複している会は代理者の選任をお願いします。(添付資料参照)

当日の担当(議長、書記など)を依頼→都合が悪い場合は連絡してください。

⑥2月初めに議案書案を各会代表、理事にメールします。内容確認して頂き、2月理事会で最終確認、承認を得て合同会議当日に向けて印刷発注します。同時に質疑書フォームをお送りします。事前にメールで提出をお願いします。説明担当者が合同会議当日回答します。締切 2月20日(木)

2) 2024年度決算報告概要(暫定版)報告。(会計細村)

決算報告概要、財務状況グラフ(暫定版)の説明を行った。特に質問無し。

3) 県連事務所使用規定一部修正しました。(野田)

修正内容の説明を行った。特に意見無し。了解された。

4) 2025年全国連評議会 2/15(土)、16(日) 野田出席 会場:府中

5) 全国、関東ブロック、県連行事一覧表(2024.04~2025.03)紹介 24件

6. ふれあいハイクについて(五木田)

1月27日(月) 17:30~ 千葉中央コミュニティーセンターにて打合せ(2回目)

参加者:障千連:天海氏、上村氏 千葉県連:五木田、岡田、野田

- 1) 今後の進め方について協議
- 2) 県連はできる範囲で協力する。(社会貢献の一環)
五木田理事(こまくさHC)が主体的に対応する。
会場の選定(案): 君津「三舟山」今後他の場所の選定も含め継続検討
- 3) 参加者の会費補助費用を、2025年度予算の事業予備費に見込みます。
(40人×1000円=40,000円 を見込む)

7. 房総の山復興PJ(野田、田中、菅井)

- 1) 過去にPJ内で整備した登山道の現状確認作業を行っている。
 - ・3カ所済み(房州アルプス・鎌倉古道、鋸山安兵衛井戸コース、高宕山周回コース)
 - ・残り1カ所 伏姫籠穴～西尾根～富山北峰～伏姫コース(下山路) 1/19実施予定
- 2) 千葉県より依頼の「首都圏自然歩道状況調査」10コース 12/4県と契約済み
 労山担当

① 23	滝のあるみち	清和県民の森周辺
② 24	ニホンザルと出会う道	高宕山周辺 一部調査済み
③ 26	東京湾を望むみち	JR金浜谷駅～鋸山～JR保田駅

 昨年12月中に調査済み、報告書原案作成。3団体で報告書調整中。
 県への提出: CMSCA岩崎会長がまとめて2月初めに提出。

8. オンライン講習会(伊東)

今年度のオンライン講習会
 年4回(4月、6月、9月、11月)で計画中です。
 取り上げてほしいテーマを募集しています。伊東まで連絡お願いします。
 4月の内容は、2月中に決めたい。海外委員会から何かあれば?

9. 各会理事からの活動状況報告

- 1) 羽鳥理事(東葛山の会)

1977年創立48年、会員56人、会員増加傾向にある。コロナ後入会者が増加
 平均73歳、70歳以上が多い。ハイキング参加者が多い。
 『ハイキング セカンドステップ(第5版)』を利用し机上講習2月より実施予定
 他の会との連携(レベルアップ)、山行管理方法(ルール)の見直し検討中
 <Q&A>・年齢制限は? → 無し
 ・入会のきっかけは? → ホームページによるものが多い。
 ・羽鳥: 「セカンドステップ」利用について他の会はどうしているか?
 → 岳人あびこ: 全員に配布、研修会に利用
 → こまくさ: リーダー講習に利用、独自にテキスト作成
 ・羽鳥: 独自テキストを県連内部で展開可能か? → 確認する
- 2) 五木田理事(こまくさハイキングクラブ)

年間山行計画 2024年 170件

2025年 160件 内容低下傾向 高齢者・経験者の引退
山行レベルの維持が課題

入会者 10人程度/年 本人の希望に合わない例あり。
平均年齢 70歳+? 例会の出席 60~70人/回・月

10. その他

- 1) 2月理事会 20日(木) オンライン 合同会議の準備、議案書の承認が主
- 2) 合同会議議案書が出席者以外に必要な会は、2月理事会までに永尾理事、野田まで連絡ください。(参考:2024年3月総会資料130部印刷)
- 3) 理事会案内を開催日(木)の週の3日前の月曜日に配信しています。
→届かない場合は、迷惑メールの確認をお願いします。
- 4) 山本理事(全国連) 全国連事務局 小松屋道代さん(杉並山の会)
1/20 アルバイト採用、3/1 正規職員となる。
担当:メディア関係、JWAF journal、登山時報、HP、短期掛捨て保険等
- 5) 機関紙委員会より(安彦):
「ちばニュース1月号」のURL配信に問題はありませんでしたか?
容量が大きくPDF添付でのメール配信ができないので、URLで配信しました。
(メーリングリストの登録人数によって添付容量に制限があるようです。)
県連HPには少し遅れてUPされますので、これの利用もお願いします。
理事の皆さんからの声ではURL配信は問題なさそうですね。。
- 6) ちばニュースの原稿締切はいつ頃ですか?
→ 毎月20日頃としています。2~3日の遅れでも対応します。
多くの投稿をお待ちしています。(安彦)

以上

◆ 教育遭難対策委員会 行事予定 ◆

① クライミング講習(入門編)

日程 : 5月~10月 6回
場所 : 印西クラック
4月に参加者募集します。

② 登山講習

日程 : 6月1日(日)
場所 : 古賀志山
4月に参加者募集します。

③ オンライン講座(ZOOM)

日程: 年4回(4月、6月、9月、11月) 基本、第4木曜日 19:00-21:00
テーマ: 取り上げてほしいテーマを募集しています。



千葉県勤労者山岳連盟

第 59 期（2025 年度）合同会議のお知らせ

加盟会 代表者 各位
県連盟 理事 各位

2025 年 1 月 13 日
千葉県勤労者山岳連盟
理事長 野田 久生

千葉県勤労者山岳連盟「合同会議」を、規約第 6 条に基づき開催します。

各会代表、県連理事、県連役員各位の出席をお願いします。

「合同会議」では、2024 年 3 月開催の「定時総会」議案書に基づき、主に変更のあった事項についての活動報告・方針の説明、及び、会計報告を行います。

記

- ◆ 日 時 : 2025 年 3 月 1 日 (土) 13:00~16:00 (12:30~ 受付開始)
- ◆ 場 所 : 船橋市塚田公民館 第 1・第 2 集会室 (3 階)
住所: 船橋市前貝塚町 601-1 (TEL: 047-438-2610)
アクセス: 東武野田 (アーバンパークライン) 線「塚田駅」から徒歩約 6 分
- ◆ 出席者 : 各会代表、県連理事、県連役員
(代表者が欠席の場合は、代理者の出席をお願いします)
- ◆ 会議方法 : 会議での報告、説明事項は定時総会議案書の内容に準じて行いますので、当日の出席者の確認事項とします。
質疑応答は行います。
会計報告、予算案については承認事項となりますので、当日の出席者により賛否の採決を行います。
(出席代表者の過半数の賛成で承認となります)
- ◆ 議 題 : 1. 第 58 期 (2024 年度) 活動報告、及び、会計報告
第 59 期 (2025 年度) 活動方針、及び、予算案説明
2. 役員 の 現 状 報 告
3. その他
- ◆ その他 : 事前 (2 月初め) に合同会議議案書をメール送付しますので、内容確認をお願いします。(印刷した議案書は当日配布します。)

以上

『アマダブラム 6,856m』遠征報告

2024年11月19日
ちば山の会 平野直子

期間：2024年10月22日～11月16日（26日間）

メンバー：日本山岳会（千葉支部）三田、平野、（東九州支部）安東、笠井、秋山

概要：

「アマダブラム」は、クーンブ地方エベレスト街道の中ほどにある標高6,856mの山。裾野を大きく左右に広げた形から、シェルパ語で「母の首飾り」の意味を持つ。

ネパールの絵や写真が飾られた店には100%エベレストとアマダブラムの作品がある程の人気のある山である。同時にその急峻な山容から、登山内容は、岩と雪のミックスクライミングの世界で、公募登山としては最難とされ、エベレスト以上の難しさとされる。



アマダブラム遠景

日程：10月22日成田発

10月23日～27日 BCに向け高度順応しつつアプローチ。

10月28日 BC到着

10月29日 プジャ

10月30日～31日 C2まで高度順応

11月1日、2日 休養日

11月3日～6日 天候待ち

11月7日 アタック開始BC～C1

11月8日 C1～C2 仮眠、18時C3へ出発、23時着

11月9日 2時C3発、9時頂上、14時C3着、16時下山開始19時C2着

11月10日 8時下山開始、13時BC着

11月11日 BC～ナムチェバザールトレッキング

11月12日 ナムチェ～ルクラトレッキング

11月13日 ルクラ～空路マンタレー～陸路カトマンズ

11月14日 休養日、帰国準備

11月15日 カトマンズ発

11月16日 成田着

高度 ：	カトマンズ	1,400m
	ルクラ	2,860m
	ナムチェバザール	3,440m
	パンボチェ	3,930m
	ABC	4,575m
	C1	5,800m
	C2	6,080m
	C3	6,300m
	頂上	6,856m



ラマ教のお坊様を招いて安全祈願（プジャ）

全体の流れ：

当初、「10月21日朝」発だった飛行機がいきなり機体トラブルで、出発が1日半遅れに。

しかもカトマンズ〜ルクラ便の飛行機も運行が安定せず、頑張っただけで半日遅れの便に滑り込む。なんだかんだで「1日ビハインド」のスタート。

この遅れを取り戻すべく、当初、一旦ディンボチェ 4,400m〜5,000m まで上がって高度馴化を進めてから BC 入りの予定を、BC 直行に変更。これが痛い失敗となった。

私達は事前に C1 を 5,400m と聞いており、BC からここまでを往復して順応するつもりだったのだが、行ってびっくり実際は 5,800m あり、1日の高度差 1,400m は大きすぎた。翌朝の体調は絶不調で、生まれて初めて高度障害で猛烈な吐き気を覚えた。

前日からほとんど固形物は喉を通らなかったが、甘い紅茶とコーラで自分をごまかし何とか C2 をタッチして下山。（C2 はうわさに違わず臭狭いキャンプ地で、ここでも嘔吐発作が。絶対泊まりたくない場所だった）

へろへろになりながら BC に下山した私達に、ツアー主催者のワンダーズ中山さんが合流。これまでのネガティブ空気を爽やかに吹き飛ばす。「いやー、最高の状況ですね！」。どこが??? という疑問の余地を抱かせないスーパーポジティブ発言に救われた。

とは言うものの、ここでもトラブル発生。東九州メンバーのうち1名が登頂を断念。そのまま BC にいるのも勿体ないので一人でトレッキングに出発していった。後で聞くと、とても楽しかったそうで良かった。

また、BC に残った東九州のもう1名も、体調不良により結局は登頂を断念せざるを得なかった事は残念だった。

さすがのスーパーポジティブ中山さんも天候には勝てず、その後4日間の停滞。

5日間設定していた予備日を全て使い果たすも「いやー、7日から3日間は最高のお天気ですよ！恵まれてますねー！」の発言に気分が上がる。

☞ 編集子注釈:

『ツアー主催者のワンダーズ中山さん』とは…？

一昨年 2023 年秋に、千葉県連海外トレッキングとして実施した『ネパール:エベレスト街道トレッキング及び 5000m峰 2 座登頂ツアー』でお世話になった『株式会社ワンダーズアドベンチャー』の CEO:中山岳史(なかやまたけし)さんです。

アタック：そしていよいよアタック日。
メンバー4名+中山さん+シェルパさん4名
で出発。

BC~C1 標高差 1,400m のダラダラ登り。
とにかく長い。
ここで1名が疲労によりギブアップ。

C1~C2 イエロータワーという難所を含めた
岩場の通過。グレードは最高でも 5.9 程度の
クライミングだが、高所での登りに息も絶え
絶えになる。



C1 への道



イエロータワー



極狭テン場
C2 テントの底

C2～C3

ここから高所靴、サミットスーツ、クランポンを装着してのクライミング。グレートクローワール、マッシュルームフェースといったミックス壁が立ちはだかる。基本アッセンダーを付けての登りだが、ずっとアッセンションをしては体力がもたない。やはりクライミング能力が最重要だ。

C3～サミット 雪壁。フィックスが張ってありアッセンダーを使用するが、ここも体力勝負。空気が薄いので地上の10倍くらい辛い（個人の感想です）。

ここで1名が疲労により酸素を使用。見違えるように元気になったその人の後をヒーヒーと登る。



グレートクローワール

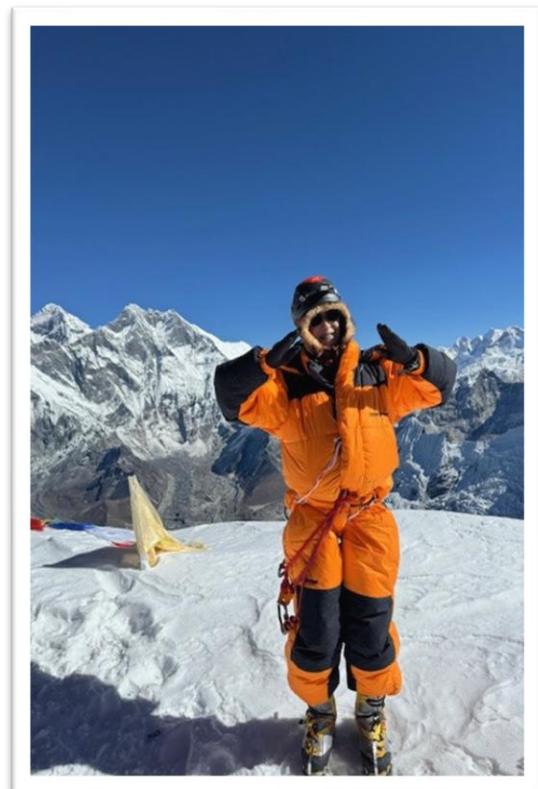


最後の雪壁を登る

この登山を支えてくれた多くの皆さん、留守を預かって送り出してくれた家族への感謝がこみ上げる。本当にありがとうございました。そして頂上を満喫して記念撮影をしてからゆっくり下山開始。

途中で減速したり、クレバス通過のために新たにロープを張ったりなどのトラブルはあったものの、ついに頂上へ！

エベレストが近い。ローツェ、マカルー、ヌプツェ、チョーオユーなど名だたる山々が一望だ。



エベレストをバックにサミット記念撮影



C3に飛来したレスキューヘリ

ここで新たなトラブル発生。
酸素を使用していたメンバーが
酸素切れにより行動不能になり、
急遽 C3 でレスキューヘリを呼ぶ。
6,300m の高所に現れるヘリコプターは頼もしい。
要救助者はそのままカトマンズ
へ運ばれて行った。

救助活動もあったりして、残りのメンバーは 16 時過ぎに C3 を出発。
暗闇の中をヘッドライトの明かりで何度懸垂下降したことが。
ようやく C2 に到着したところでこの日は終了。

翌日

C2 から懸垂多数で C1 へ。その後無事に BC に帰還した時は、心底ほっとした。
しかし、予備日を使い果たした我々は、登頂の喜びもつかの間で、慌ただしく荷造りし、翌日から重い足で帰路のトレッキングについていたのであった。

但し、今回は標高がどんどん下がるので、足もどんどん軽くなっていったのは驚きだった。

そして相変わらずの飛行機遅延にもめげずに漸くカトマンズ到着！あとはお土産を買って帰るだけになった。

こうして書くと、あっという間の日々だったが、本当はここに書き尽くせない濃密な日々であった。細かくは、いつか一緒に山に行く人に、つらつらと思い出話として語らっていきたい。

是非、語らっていただきたい…と思います。(編集子)

海外委員会だより <2025 年海外登山予告>

日程:2025 年 10 月 17 日(金)~21 日(火)<4 泊 5 日> (第 1 希望:日程未確定)

目的地:韓国『ソウル 5 大名山』の 3 座

道峰山(トボンサン)739.5m、**水落山**(スラクサン)637.7m、**仏岩山**(プラムサン)508m

昨年 2024 年秋に実施した『北漢山(プッカサン)と冠岳山(クァナクサン)』に引き続き、

本年は、上記 3 座を歩いて『**ソウル 5 大名山全山踏破**』を目指します。

詳細が決まり次第、『2025 ちばニュース』で案内します。乞うご期待!!

「火山と大自然を巡る旅：インドネシアのお勧め登山スポット」

山の会「岳樺クラブ」 大越和久

インドネシアは、1万7000以上の島々から成る世界最大の群島国家。東西の距離はアメリカ合衆国本土に匹敵するくらいの広がりを持っています。そのため、地域によって植生や文化が異なり、多様性に富んでいるのが特徴です。その広大な自然には、雄大な火山、深いジャングル、青く輝く湖など、素晴らしい景観が広がっています。また、300以上の民族が織りなす豊かな文化や伝統も、インドネシアの特徴的な魅力の一つです。

私自身、2024年に7ヶ月間ジャカルタに駐在した経験から、インドネシアにおける登山の魅力やお勧めの山々について紹介させていただきます。



シンドロ山から見たスンビン山

<インドネシアでの登山について>

●山の特徴

インドネシアには標高3,000mを超える山が数多く存在しており、ジャワ島、スマトラ島、スラウェシ島などの主要な島々に分布しています。これらの山々は、環太平洋火山帯に位置しており、火山の独立峰が多いのが特徴です。

パプアは、インドネシアの他の島と異なる独自の特徴を持ち、世界有数の山岳地帯となっています。オーストラリア最高峰のカルステンツ・ピラミッド峰(4,884m)が聳え立ち、人跡未踏のエリアも多いと言われています。

●登山許可及び登山ガイド

インドネシアでの登山は、事前の申請や許可が必要な場合が多いです。特に国立公園や保護区内にある山を登る際には、登山者の安全管理や自然保護のために規定が設けられています。手続きは全てインドネシア語で行う必要があるため、外国人の場合はガイドや登山会社に依頼して手続きを進めることが一般的です。

ガイドを依頼すると、通常は空港やホテルまでの送迎が含まれ、ロジスティックスや現地の食事など、登山に必要なその他の手配も対応してくれます。参加人数が増えると一人当たりの費用が安くなるため、特に遠征の場合は参加者を集めることが重要になります。

ガイドは皆親切で優しい方々ですが、インドネシアで「ゴム時間」と呼ばれる多少の時間的な遅れが許される文化があるため、心に余裕を持って行動することが、快適に過ごすコツとなります。

●登山事情

インドネシアの山中に山小屋はなく、宿泊を伴う場合はキャンプが基本スタイルとなります。ほとんどの登山道には「POS」と呼ばれるチェックポイントが設置されており、休憩に適した広場となっています。場所によっては「ワルン」と呼ばれる売店が設置されていることもあり、ドリンクや軽食を購入することができます。ジャカルタ近郊にあるグデ山(2,958m)には、なんと山頂にまでワルンがあり驚きました。

インドネシアはイスラム教が広く普及しており、登山中の安全祈願として、入山時に参加者全員でお祈りすることが良くあります。この儀式は心を落ち着かせると同時に、神聖な気持ちにさせてくれます。

ジャワ島の山で特に顕著な問題として、ゴミ問題があります。キャンプ地や登山道ではゴミがそのまま捨てられていることが多く見受けられます。看板で「ゴミは持ち帰りましょう」と呼びかけていたり、登山口に大きなゴミ捨て場を設けている場所もありますが、この改善には時間がかかるでしょう。また、登山道にはソールの取れた靴や壊れた靴がそのまま廃棄されているのを頻繁に見かけました。

インドネシアの人々の登山に対する意識として私が現地で感じたのは、山頂に火口のある火山の場合(実際にこのような山が多い)、ピークハントの感じ方が日本とは少し異なるということです。インドネシアの人達は登山道から到達するお鉢の一部を山頂と認識しており、最高標高地点にこだわらない傾向があります。そのため本当の山頂に行きたい場合は、ピーク名を指定しないと連れて行ってもらえないことがあります。例えば、チレマイ山(3,078m)のようにお鉢巡りを楽しめる山でも、最高標高地点に山頂標識がなく、足を運ぶ人は稀でした。

●登山に適した季節

雨季と乾季があり、登山には気候が安定する乾季をお勧めします。一般的に5月から10月くらいまで続きます。

一年を通して気温は30度前後ですが、低山であれば雨季でも雨合羽があれば問題ありません。ただし、高山では状況が異なります。私が中部ジャワのメルバブ山に雨季に訪れた際には、豪雨と強風に見舞われ、撤退を余儀なくされた経験があります。温暖な気候であっても、一旦天候が荒れると自然には逆らえません。

●インドネシアの登山メーカー

インドネシアの人口は約2.8億人で世界第4位の規模を誇ります。そのため、登山者の人口も多く、登山用品を扱うメーカーが数多く存在しています。日本ではあまり馴染みがありませんが、Eiger、Rei、Consinaなどのブランドがあり、手頃な価格でローカルの登山用品を購入できるのも魅力の一つです。

●登山アプリ

日本のYAMAPはインドネシアでも使用でき、現地で活用している駐在者が多くいます。その他にも、Outdooractive、AllTrails、Stravaなどの登山アプリが利用可能です。



リンジャンニ山のワルン
「STARBUCKS」

<私が訪れたお勧めの山>



①リンジャニ山 (3,726m) 2024年6月

ロンボク島の最高峰であるリンジャニ山は、雄大な火口湖と美しい自然環境が特徴で、登山者に圧倒的な人気を誇るスポットです。ヨーロッパやアジア各国から多くの登山者が訪れ、日本からの訪問者も多い山です。私たちは、「Green Rinjani」というツアー会社を利用し、2泊3日、総勢10名で訪れました。加えてガイド3名とポーター12名という大所帯で、いわゆる大名登山スタイルでの登山でした。

初日：Sembalun から入山し、草原地帯を抜けて、巨大なカルデラ湖を望める2,658mのキャンプ地で宿泊しました。Segara Anak湖と外輪山の景観が素晴らしく、非常に美しいサンセットを堪能できました。テーブルや椅子もポーターが運んでくれるため、大自然の中で食事を取り、快適に過ごす事ができます。



リンジャニ山頂からの景色
左に影リンジャニ
遠方にはバリ島のアグン山を望む

2日目：夜明け前にキャンプ地を出発し、山頂を目指しました。砂状の道を進むと、一歩進んでは半歩下がる状態で、キックステップでゆっくりと歩を進めました。山頂では、見事なご来光を堪能しました。この日は、カルデラ湖畔を經由して途中のキャンプ地まで移動する長時間の行動になりました。キャンプ地では天然の温泉が湧き出ており、天然の露天風呂で汗を流すことができるのが非常に心地良かったです。



キャンプ地での食事

3日目：早朝、再度温泉に入り、急峻な溪谷を歩きながら途中で大きな滝を見て、Toreanへ下山しました。

この旅で特に驚いたのはポーターたちの力強さです。彼らは頻繁に入山しており、20kgを超える荷物を軽々と運びます。基本的にはビーチサンダルで歩き、もしサンダルが壊れると裸足で岩場を安定した足取りでヤギのように軽快に進みます。そのため、自らをカンビン（ヤギ）ポーターと呼んでいました。私は「靴は履がないのですか？」と尋ねたところ、山頂付近で寒くなると防寒のため履くことがあるとのことでした。ポーターとして経験を積み、数年後にはガイドになりたいと語ってくれました。



裸足のポーター

②中部ジャワの山々 2024年3月～5月

中部ジャワには、特別自治州の首都であるジョグジャカルタがあります。ジョグジャカルタは伝統的な王宮文化と深く結びついており、歴史や文化が色濃く残る都市です。世界遺産であるポロブドゥール寺院やプランバナン寺院群と合わせて登山を楽しむのもおすすめです。

中部ジャワには、登山対象となる山々が多くあります。

例えば、「2M」と呼ばれるメルバブ山とメラピ山、「2S」と呼ばれるスンビン山とシンドロ山、神聖なラウ山などです。これらの

山は、すべて日帰りまたは1泊2日で登頂可能なため、休日を利用してシンガポールやマレーシアからも登山者が訪れるエリアとなっています。

ただし、メラピ山は活発な火山活動が続いており、2024年5月時点では入山禁止となっています。

登山ガイドは、「Mount Merapi Tour」及び「Tiga dewa」に依頼し、このエリアでは通算8日ほど過ごしました。



ポロブドゥール寺院から見る
メルバブ山（左）とメラピ山（右）

・メルバブ山 (3, 135m)

山麓の熱帯雨林から標高が上がるにつれて、高山植物も楽しめます。登山は Se1o にあるガイド宅から出発しました。ガイドによると週末には1日に500名が訪れる人気の山です。過去には1日で最高2,000名が入山した事もあり、登山道で渋滞が起こる事も度々あるそうです。

メルバブ山は対峙するメラピ山とは異なり、全体的に穏やかな山容が特徴です。山頂は森林限界を越えておらず、緑が多くあります。



メルバブ山頂にて

・スンビン山 (3, 320m) とシンドロ山 (3, 153m)

スンビン山とシンドロ山は、対峙する活火山で、まるで夫婦のような関係です。岩峰があり、標高の高いスンビン山は男性的な印象を与えます。美しい富士山型の活火山が2山並んでいる景色は壮観です。



シンドロ山からのサンライズ
正面は、スンビン山
遠方にメルバブ山とメラピ山を望む
遠方にはバリ島のアグン山を望む

スンビン山へは、登山口までオジェックと呼ばれるバイクタクシーで移動しましたが、ここのオジェックは闇夜の中を超高速で急坂を登るので、非常に恐怖を感じました。深夜12時に出発し、山頂でご来光を予定していましたが、予定より早く到着したため、ガイドが登山道の一角で焚き火を始めました。寒かったので暖まりましたが、予想外の出来事で驚きました。



焚火を始めるガイド



スンビン山頂のライオン岩



スンビン山から望む夜明け前のシンドロ山

シンドロ山は、雨季に訪れたにもかかわらず、天候に恵まれ、絶景を堪能することができました。ガイドの追加オプションでカメラマンが同行し、綺麗な写真やドローンによる空撮も撮影していただきました。



シンドロ山頂のお鉢内



・ラウ山 (3,265m)

ラウ山は古くからヒンドゥー教の聖地として崇められ、山腹には寺院などの遺跡が残されています。

Cemoro Sewu 登山口から山頂付近まで続く石畳の道は、歴史を感じさせるルートです。

キャンプサイトには湧水とお祈り場があり、夜になるとテント場までお祈りの声が届き、神聖な場所であることを実感しながら眠りにつきました。

ラウ山のキャンプサイト

満月の夜にお祈りの声が響き渡る

③クリンチ山 (3, 805m) 2024年5月

クリンチ山はスマトラ島の最高峰です。ジャカルタ駐在するとすぐにガイドへ連絡を取り、雨季が開けるタイミングを狙って計画を立てました。

ガイドは、「Padang Mentawai Tribe Tour」に申し込みました。この旅行会社は、スマトラ島の現地部族と共に生活するツアーも取り扱っています。

この旅では、単独のロシア人と同じパーティになり、パダン空港から登山までの3泊4日の行程を共に過ごしました。

クリンチ山は、遠くから眺めると富士山に非常に良く似ています。

麓には世界最大の紅茶プランテーションが広がり、茶畑と火山という組み合わせが、とても美しいです。



コーヒー畑から望むクリンチ山
ジャングルの濃い緑と
山頂付近の赤茶けた大地との
コントラストが印象的

クリンチ山への登山道は、大きな山域では珍しく、登山道は一ヶ所のみのため、往復のピストンとなります。登山道では、猿やリス、カラフルな色をした鳥、へび、カメレオンなど様々な動物に出会いました。

この辺りのジャングルにはスマトラ虎も生息しているそうで、想像すると少しドキドキします。

森林限界を越えたキャンプ地で山中1泊し、澄み切った夜空

に輝く南十字星を見上げながら、翌朝には山頂でご来光を拝むことができました。

クリンチ山頂の火口は、写真ではうまく伝わりませんが、その巨大さと深さに圧倒されました。

この旅程は予備日がなく少し心配でしたが、最高のコンディションで登頂する事ができました。



クリンチ山頂のご来光

(番外) クライミング編

インドネシアではスポーツクライミングが広く普及しており、ジャカルタ市内では室内ジムだけでなく、多くの屋外人口壁を見かけることができます。私は、そこで練習をしていた Satala Climbing Club の仲間に加わり、週末に良く一緒にクライミングを楽しんでいました。クラブで練習している子供達に話を聞いたところ、週に4日もトレーニングしており、その実力の高さに驚かされました。クライミングの国際大会も開催されており、インドネシアの選手達は優秀な成績を収めています。



ジャカルタ近郊には、クライミングできるエリアがいくつか点在しています。当初は英語で検索してもなかなか情報が見つからず苦労しましたが、翻訳アプリを活用してインドネシア語で調べた結果、良いガイドさんに出会うことができました。それ以来、週末になると岩場に足を運んでいました。

以下では、そうして訪れた中からいくつかクライミングスポットを紹介致します。

・**チタタ岩場**：バンドン近郊。ゲレンデがいくつか存在しています。週末になると多くのパーティが集まっており、ガイドさんによるクライミング教室が開催されると、その都度参加していました。



チタタ 90 全景

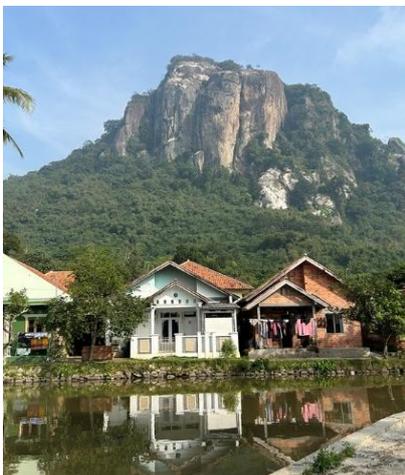


チタタのメンバー



チタタ 125 のチムニー

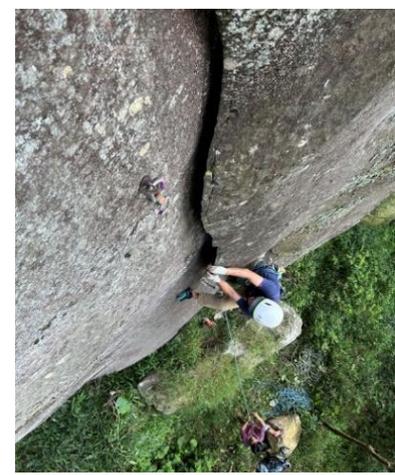
・**ボンコク山**：クラックが多く、まだまだ開拓の余地があるエリアです。少し難易度の高いルートが多い印象です。



ボンコク全景



Ledjen of the fall (3 ピッチ)



レイバックルート

・**パラン山**：タワー3 東面壁をマルチピッチ(約 10 ピッチ)で登れる岩山です。この山は、ヴィア・フェラータが有名で、ジャカルタから多くの登山者が訪れています。



パラン全景



セルフ取りながらランチ



5P目をリード

<おわりに>

今回の旅では、日程の都合で東ジャワの山々を訪れることができなかったことが心残りです。しかし、いつか機会を見つけて再び訪れ、その魅力を体感したいという思いを抱いています。

日本ではインドネシアの登山に関する情報は限られていますが、実際に訪れてみると、インドネシアは間違いなく「登山大国」と言えるでしょう。

私が訪れた山々では登山道がしっかりと整備されており、安全に楽しむことができました。また、ここでは紹介しきれませんでした。ジャカルタ周辺の低山は週末になると多くの人々が登山を楽しんでいます。

特に印象的だったのは、登山を楽しむ若い世代の多さです。山中は活気に満ちており、彼らの情熱が感じられると同時に、そのエネルギーからインドネシアの未来への期待が膨らむ思いでした。

この文章を通じて、少しでもインドネシアの山々に興味を持ち、実際に足を運んでみたいと思っていただけたら幸いです。

豊かな自然と活気あふれる登山文化が、訪れる人々に新たな発見と感動をもたらしてくれることを願っています。



同じ登山ツアーに参加した若者達

石城（いわき）七峰縦走大会

～チャレンジコース～

ちば山の会 小泉 香織

（山行日） 令和6年12月1日（日）

（天候） 晴れ

（参加者） 内堀・小泉

（コース・山行タイム）

前泊地 4:40⇒5:10 トミー（株）湯本工場駐車場・受付⇒送迎バス 6:10
⇒6:17 田場坂スタート（100m）**6:37**⇒①湯ノ岳（593m）⇒田代 CP1⇒②天狗山（631m）
⇒③三大明神山（706m）⇒三大明神三叉路 CP2⇒④ニツ石山（751m）⇒11:35 水石ト
ンネル（250m）CP3⇒ほっとして30分も休憩してしまう！お菓子旨っ！⇒成沢 CP4
⇒⑤関伽井岳往復（604m）⇒関伽井岳分岐 CP5⇒⑥水石山（735m）CP6⇒⑦剣ヶ峰（603m）
⇒**15:50** 小玉ダム（225m）ゴール！

（山行報告）

皆さん「縦走大会」をご存じですか？

トレラン大会なら沢山開催されていますが、縦走大会だと「？」の方もいらっしゃるかと思います。

有名だと「六甲全山縦走大会」。私も過去11月の神戸市主催と3月の兵庫労山の3回出場しましたが、日帰り45km・累積登り3300mなので、ロング縦走好きにはたまらなく歩きそそられます。

「奥秩父七峰縦走大会」なども今は懐かしいものになっています。

縦走大会の良いところは、「順位を競わない」「自分では思いつかない縦走路を歩くことができる」「他会との交流が深められる」点です。

縦走大会は基本、「走るの禁止」です。その中でどれだけベストを尽くせるか、自分との闘いになります。その中でも普段見ることのできない夜景や眺望、お山と出会えるのは大会だからこそ！です。

また、六甲大会などで他県の労山との交流も出来ました。

前置きが長くなりました。YAMAP のフォロワーさんからお勧めして頂いた「石城（いわき）七峰縦走大会～チャレンジコース～」に出場してきました。

一番距離があるチャレンジコースでも、30km、累積登り 1800m しかないので縦走大会にしては軽い部類だと思います。が、ゴールの制限時間は無いですが、途中の CP3 「水石トンネル」までの制限時間に余裕なし！制限時間を過ぎるとマイクロバスで強制的に駐車場に戻されてしまいます。YAMAP の歩行ペースだと 150% でギリギリ。170% 以上で歩かないと制限時間に間に合いません。

この大会では、トレランは禁止されていないので、チャレンジコースの多くの方はトレランの方々でした。あらら・・・

最初のお山、①湯ノ岳までは 500m 上げです。大会で一番の登りになります。

②天狗岳は紅葉がキレイでした。急登で足攀の方が悶絶していました。

③三大明神山は気持ちの良い笹路

④二ツ石山までは巨大な風力発電が何台もありました

楽しみつつも、「水石トンネル」の制限時間を 1 時間早く通過！

やったー！これでゴールは確約された！

エイドで大好きなカントリーマアムあった！

ここからは先はすっかり観光気分になりました。

⑤関伽井台（あかいだけ）暫し舗装路歩き、成沢から沢筋のゴーロ帯を歩きます。

このコースは大会ならではだと思います。

⑥水石山は舗装路～山道を何回か繰り返します。

山頂は遮るものがなく丘のようだった。

⑦剣ヶ峰までは気持ちの良い笹路。剣ヶ峰過ぎの「玉ころがし」「小玉ころがし」の激下りを頑張れば！ゴール！

大会はとっても楽しかったです。

参加者同士のおしゃべりも然り（私は六甲大会 T シャツを着ていたの、大会好きの方々からたくさん話しかけられた）

スタッフの皆様が全力で応援してくれて、全力で歓迎をしてくれる。特に、ゴールの歓迎振りには感動を覚えました。

今年もさまざまなロング縦走を楽しみたいです！



ボランティアスタッフの方々が全力で歓迎してくれた



満面の笑みの甘酒娘達



ゴール



ゴールのご褒美

〈小泉の2024年11月&12月の山行〉

11月山行

- 4日(日) 甲州アルプス (丸川峠～柳沢峠)
- 16日(土) 足利アルプス (一気に21座ピークハント)
- 17日(日) 那須連山 (茶臼岳～三本槍岳～スダレ山～朝日岳。スダレ山お勧め!)

12月山行

- 1日(日) 石城(いわき)七峰縦走大会
- 6・7日(金土) 天城縦走路～伊豆山稜線歩道(天城山～土肥峠) 43km・2583m
- 8日(日) 房総 梅ヶ瀬溪谷～大福山
- 14日(土) 筑波山(会の新人さん含め5人。楽しかった)
- 15日(日) 房総 高滝ダムの周辺のお山
- 21・22日(土日) 太田アルプス(2日間で33座ピークハント!)
- 29日(日) 安達太良山(雪山3年生となりました!今年もどんな雪山達に会えるのかなー)
- 31日(火) 佐野アルプス(18座ピークハント)

おしまい

忘年山行『茨城県：御嶽山・雨引山と明野温泉』

市川山の会

1年の締めくくり山行

齊當 あつ子(一般組)

「エッ！7時だ、バスは行っちゃった。」と飛び起きた。時計の針は3時半を指していた。真夜中ではないか。再度布団に潜り込み、目覚まし時計の音で起き出した。

バタバタとまだ夜が明けない道を駅まで突っ走る。西船橋に着いてバスに向かって歩く。馴染みの緑のバスは灯りがともり私たちを待っていてくれた。

忘年山行の始まりだ。

12月8日(日)6時40分、27人(男12人、女15人)を乗せたバスは明るくなり始めた西船橋を出発した。満席のバスは京葉道・外環道・常磐道を順調に走り、友部サービスエリアで一休み。北関東道を通って岩瀬駅へ。そこで『一般組19名』は下車、『スロー組8名』は雨引観音駐車場まで乗車する。

岩瀬駅前広場で楽しく準備体操をした一般組は、8時55分駅前を出発。しばらくは町外れを山に向かって歩く。空は雲一つない青空、ススキの茂みの中から聞こえる鳥たちのさえずりが心地よい。関東ふれあいの道の立派な立て看板の横が御嶽山の登山口で、いよいよ登り道になる。檜・杉などの植林された木々が繁る山道は暗くて寒い。暫く歩くと「不動の滝」に着いた。飲水可能なのか柄杓が架けてあった。

急坂を登って尾根に出ると、柔らかい木漏れ日にほっとした。「御嶽山神社」に立ち寄り、展望台から歩いてきた岩瀬の町の景色を眺めてから暫く歩くと、御嶽山の山頂に到着。雨引山まではアップダウンはあるが石ころなどは無く、歩きやすい道が続く。雑木林の中、紅葉したモミジ等の写真を撮ったりしながら冬の日射しを楽しんだ。途中ですれ違った71歳の男性は、この道の散歩を日課にしている、高かった血圧も下がったと話してくれた。

最後の難所？と言われる350段の丸太の階段を登り切って(私は巻道を登った。)めでたく11時5分に「雨引山」山頂に到着。ここでも澄み切った青空が私たちを迎えてくれた。スロー組は一足早く10時28分に到着したとのことだった。

目の前には筑波山と加波山が鎮座、眼下には関東平野という贅



沢な景色の中でお弁当タイムとなった。11時45分記念撮影、12時には山頂出発。

雑木林、植林の道を下ること約30分で雨引観音に到着した。途中には野イチゴ？が自生していて、赤い実がなっていた。「ジャムにしたい…」との声も。私も数粒食べてみたが甘酸っぱい自然の味がした。「フユイチゴ」が正式な名前だそうだ。

ゴールの「雨引観音」は由緒ある古刹。七五三やお宮参りの家族で賑わっていて、

地域の人たちに大事にされている観音様だと思った。私も僅かなお賽銭で「来年も元気に山歩きができるように…」とお願いをした。

13時に雨引観音を出発して筑西市の明野温泉へ。ゆっくり汗を流してから帰路に就いた。17時30分に西船橋到着。1年の締めくくりに相応しい山行だった。計画から下見まで周到に準備していただいた役員の方々ありがとうございました。

楽しかった忘年山行

スロー組8名は雨引観音駐車場で下車。下見では麓より1時間以上かけて登ってきたとのことですが、ロードの1時間はきつい。ここまでバスで来られるとはラッキー。

古刹の雨引観音への参道は、黒門を通り石段を上がると朱色の仁王門、境内へと続きます。

スタジイの古木が参道脇に鎮座しており、境内にはクジャク、ヤギ、アヒルなどが放し飼いにされています。池には色とりどりの錦鯉等が泳ぎ、自然の豊かさが感じられます。頭上にはスッキリとした青空が広がり、境内にあるモミジが、朝の光を浴びて美しい色合いを見せてくれます。



松永 英美(スロー組)



ゆっくり境内を散策し、雨引山に向かいます。紅葉は終盤に差しかかり、落葉もだいぶ進んでいます。

加波山への分岐まで、落葉で埋まる道を一登り二登り。最後の急坂を登ると東屋のある山頂に到着。1時間30分の行程でした。

帰りのバスの車窓からは筑波山が遠く近く、そして残照のシルエットの富士山を眺めながら、SさんNさんの歌声で楽しく忘年山行を終わらせることができました。里山歩きができたことに感謝。



三浦アルプス山行報告

茂原道標山の会 鈴木知恵子

日にち：令和7年1月11日

参加者：11名

コースタイム

大網駅 6:10→6:39 千葉駅 6:57(快速逗子行) →8:37 逗子駅 8:50→9:45 阿部倉登山口
…10:20: さくらテラス 10:25…11:30 阿部倉山…11:07 下二子山…11:32 上二子山 (昼食)
12:30…13:05 分岐…14:07 分岐 (小学校周辺) …14:25 東逗子駅 15:01(快速千葉行)
→16:53 千葉駅 17:10～19:00 忘年会

山行記録

先月予定されていた忘年山行が今月に変更となり、11名参加の山行となった。

阿部倉登山口で出会った地元の方にお地蔵さんの事を教えてもらい、ほっこりとした気持ちで登り始める。登山道は落ち葉で時折滑りそうになるが、ゆっくりとしたペースで冬の寒さも感じながらも、木漏れ日が気持ちよい。



阿部倉山山頂は、平坦で通り過ぎてしまいそうで眺望0(ゼロ)。

しかし、その先のさくらテラスでは、雪化粧した富士山が絵画のように素晴らしく、こちらは眺望良し。

皆で写真撮影をする。

その後、細い山道のロープ場が何カ所かあったが、皆難なく通り過ぎ予定よりも約30分早く山頂に着く。

山頂は風もほとんどなく、暖かい日差しの中で昼食休憩時間をたっぷり1時間とる。



下山は、途中引き返す場面もあったが、リーダーの古賀さんの適確な判断でスムーズに余裕をもって東逗子駅に着く。

帰りは予定通りの電車に乗り、千葉駅近くのお店で2時間程宴会をする。

反省と教訓

行きの電車の乗り間違えに、誰も気づかず乗ってしまった。リーダーに任せきりでなく、各自が確認して行動する事の大切さを再認識する。

< 短信 1月 > ▲ 茂原道標

- 1/7 例会 15/19
 - 1/11 三浦アルプス (会) 11名
 - 1/13 倉見山 (個) 1名
 - 1/18-19 富山、新年会 (会) 14名
- 独り言… 飲み過ぎです。



三浦アルプスからの富士山

『海外山行計画書』を提出して下さい！

海外山行を実施する場合は、必ず、**全国連盟海外委員会**に『山行計画書』をメールで提出してください。提出者は、会代表者、会山行管理責任者、山行実施者の何方でも構いません。旅行会社のツアーに参加する場合でも提出をお願いします。(編集子)

『ちばニュース』への投稿呼びかけ

『ちばニュース』は千葉県勤労者山岳連盟の月間機関紙で、所属会及び会員からの投稿などで構成されています。

是非、会の山行や行事についての感想文・報告文や「こんなことがあったんだけど、皆さんにおすそ分けします…」、「見て見て！こんな面白いモノがあったんだけど…」、「こんな夢を見たんだんだけど、皆さんは見たことありますか…」などといった山関連の話題などを機関紙委員会までお寄せいただきたいと思います。

併せて、表紙用の写真(山関連)も募集しています。その際には、写真の説明を100~200字程度付け加えていただきたいと思います。(編集子)

第37回 房総ハイキング

さと海さと山:勝浦を歩いて

ハイキング委員（東葛山の会）羽鳥健一郎

- ◆ 日時：2025年1月25日（土）8時40分 勝浦駅前集合
- ◆ 参加者：8会 59人
岳人あびこ 8、東葛山の会 17、松戸山の会 5、かがりび山の会 7
こまくさHC 8、まつど遠足クラブ 3、ちば山の会 2、ふわくHC 9
- ◆ 天気：勝浦市内は曇り、晴れ間もあり。
- ◆ 行動：各会で行動
- ◆ 歩行時間：約4時間（休憩含む）
- ◆ コース：

勝浦駅前出発 9:00・・・勝浦朝市・・・遠見崎神社（雛を飾る階段で集合写真）・・・
虫浦トンネル・・・八幡岬公園・・・勝浦城址・・・お万の像・・・
官軍塚公園（昼食）・・・万名第一トンネル・・・万名第二トンネル・・・
川津港・・・津慶寺・・・市街地を巡り・・・歩道トンネル・・・R128に出る・・・
12:45 勝浦駅 13:00 現地解散

今年は8会 59人が参加され「房総ハイキング」が開催されました。

早朝の各地は出発前から小雨模様でしたが、車で先着されていた田中ハイキング委員長から「勝浦に到着、青空もあり」とのメールが入り安堵しました。各会の参加者は自宅から最寄りの駅までが雨でご苦勞様でした。

会員の高齢化に伴い、従来の「房総ロングハイク」から「房総ハイキング」と名称を変え「ロング」がとれましたが、お陰様で多くの参加者がありました。

最高齢は松戸山の会の桑原さんで、3月には93歳とのこと。奥さんと今回も元気に参加されました。

「朝市」通りを迂回しましたが、歩き始めから出来立ての葛餅を食べる人や野菜の値段をチェックする人など短時間でしたが有名な勝浦の朝市を冷やかしながら「遠見崎神社」に着きました。ここは雛人形を飾ることで有名な神社です。その階段に参加者が勢揃い。野田理事長が三脚を立てての集合写真の撮影となりました。カラフルな防寒着を着た「雛人形」ならぬ「生人形」はなかなか壮観でした（表紙写真）。



勝浦駅前でコースをチェック



八幡岬公園へ向かって



八幡岬公園に立つ「お万」の像

予定のコースを歩き「八幡岬公園」に到着。

「お万の方の銅像」が晴れた冬空に映え、展望デッキからの眺めは雄大でした。



官軍塚公園へ向かって



八幡岬の背後には勝浦灯台が

この後、「勝浦灯台」を右手に見ながら「官軍塚公園」に着きました。

久々に会う他会の人との交流も垣間見れました。

会ごとに集合写真を撮り、それぞれ車座になったの昼食。

食べ終えた頃から徐々に風が冷たくなり、晴れから曇り空に。



官軍塚公園で東葛山の会が集合 + ビジター

「万名のトンネル」を抜けて「川津港」へ。船宿の看板が増え、釣り船が多く停泊していました。停車中の車は神奈川県や都内ナンバーが多くあり川津は釣りのメッカのようです。

寒い中で、遠くから来た釣り人達を横目に、リュックを背負い大勢の岳人が歩く光景は、まさに「さと海さと山：勝浦」でした。



津慶寺（しんけいじ）

しんけいじ
津慶寺を参拝した後は一路、
勝浦駅に急ぎました。

下見した時よりも早くゴールし、
雨も避けて歩けました。

参加者の皆さん、お疲れ様でした。



田中ハイキング委員長の勝浦駅前での挨拶（解散時）

ハイキング委員会『ウィークデー山行』開催予告

日にち：5月19日(月)

場所：首都圏自然歩道（関東ふれあいの道）千葉版 No.14

上記コースを基本とした千葉労山オリジナルコースの予定です。

※詳細が決まり次第、『ちばニュース』に掲載します。

まつど遠足クラブ設立 25 年記念誌

まつど遠足クラブさくら組 内藤光雅

「まつど遠足クラブ1年さくら組」は、設立 25 周年を迎えました。それを記念して『だいたい 25 周年記念誌～みんなのチャレンジと踏みあと～』を作成致しました。

作成にあたっては、西村善三郎前会長を中心に編集委員 5 名にて何度も編集会議を重ねて完成に至りました。

写真を整理する中では、

「〇〇さん若いわね！この写真の人は誰なの？」

「ここに登ったんだ。あそこにも行ったんだ。」

「あそこの山は、一日中雨で大変だった！」

と写真を見ながら大いに盛り上がりました。

投稿の内容は、それぞれ山を愛する気持ちが綴られた内容ばかりで、改めて山への熱い思いを感じさせられました。OB 会員からの投稿もいただき感謝です。

今年は、25 周年を記念して記念山行を計画しています。「3000M 級の山にはもう登れない」「温泉がある所が良い」「ロープウェイがある山が良い」等々好き勝手な意見が出て、みんなでわいわいがやがやと計画しております。

これからも山好きの仲間たちと安全登山をモットーに、山登りを楽しんでいきたいと思ひます。



記念誌表紙



完成祝いの会

あとがき…編集人を代表して

遠足クラブの「遠足」は…登山の黎明期、昔の人が鍋釜米テントなどの重荷を背負って、バスもない長い道のりを歩き、アルプスの峰々を登ったのを「登山」と言うのなら、我々のそれは軽薄短小…昔の人の「遠足」にも満たない。しかし、風の音を聴き、土の匂いを嗅ぎ、大地の中に身を投じ自分を感じる時、その気持ちだけは、昔の人の「山を愛し、挑戦する」スピリッツや感性は負けてはいない…と信じている。その心がある限り、「山高きが尊からず」3000m 峰も高尾山も同じ、立派な遠足です。

道具、ウェアの進化、交通網や小屋の充実、情報、伝達の手段の格段の発達は、軟弱な我々でも「渋沢栄一さん」を持って行けば、体力を補填してくれる。

「体力は買えませんが、良い道具は買えます。」名言です。仲間が居れば「ビール 1 本で助けてくれる」カードを使いましょう?! 遠慮は無用、世の中は、お互い様です。

25 年の最初の5年間はバスツアー的な山行も多く(近場の日帰りは良いのですが)当時、ひと周りくらい上の60歳前後?の年配の参加者も多く、金曜夜発で車中泊、翌早朝から5~8時間、歩き、宿に泊まり、翌日曜日にも4,5時間登山してから、帰松(戸)する…弾丸(ハード)登山ツアーでした。

当時、私は40 過ぎで一番若手の部類でしたが、今、思うに、皆さん良く歩いてくれました。今だったら参加を躊躇しますわ…汗。

秋田、和賀岳、5 時間かかった頂上の解放感。その日は暑くてキツかった飯豊山、翌日、北方の杵差(えぶりさし)山まで歩いた…山行が印象的でした。

皆さんのご協力のお陰で、えっちらおっちら25 年目を迎えることが出来ました。

会長も上條さんに替わり、皆さんの協力し易い態勢になりました。私は実家の後始末をしているので、山には、あまり行けておりませんが、その内、余裕が出来ましたら「山行の切り込み隊長」に戻りますよ…(笑)。皆さんの気持ちが伝わる25 周年記念誌「やまねⅡ」出来ました。ありがとうございました。

だいたい25 年記念誌「やまねⅡ」

発行日 2025 年1 月20 日頃

発行人/まつど遠足クラブ1 年さくら組 学級長 上條喜美子
編集人/内藤光雅、上條喜美子、大久保有美子、窪田美美子、藺草純子
西村善三郎(疑問や苦情は、090-3572-8192 まで問い合わせください)

※この中に素敵な人がいても、無断転用しないでね!

いつでも会員、募集中です!! よろしくね!

楽しく学ぼう！

「楽しく、自立した生活は 1に筋トレ 2に栄養から」

実施日 2025年3月8日（土）13時～16時00分

場 所 船橋市西部公民館・第1・2会議室（2F）
（JR総武線下総中山駅下車・徒歩10分）

参加費 ありません！

講 師 石田 良恵 先生

紹 介・保健学博士

・女子美術大学名誉教授

・フロリダ大学スポーツ科学研究室客員教授
（1989年～1990年）

・専門は皮下脂肪・減量・加齢

著書 「一生、山に登るための体づくり」 好評発売中

- ・参加者の皆さんの「経験や疑問」を発表して下さい。
日常生活や山での「なんだ、これ？ こんなときどうする？」等について経験を交流しましょう。
- ・バテタ時のサプリは？ 筋肉痛にはアミノバイタル？ 足がついた時は「芍薬甘草湯」？ 等々皆さんのとっておきを披露して下さい。
- ・専門的な事については、石田先生のアドバイスがあります。

◆ 問い合わせ先・千葉県勤労者山岳連盟・女性委員会 広木まで

・ danphiro@jcom.zaq.ne.jp

・ 090-8316-2020

2025 年度県連合同『磯根浜クリーンハイク』開催案内

県連 自然保護委員会

海洋プラスチックによる海洋汚染による環境破壊は、ますます大きな問題となっています。県連では磯根浜にてクリーンハイクを行い、23年75kg、24年92kgのゴミを回収しました。

しかし、まだまだ大量のゴミが残っていました。そこで、今年も同じ場所で、すばらしい景観を見ながら下記のようにクリーンハイクを計画しました。昨年度は5月末で気温も高く、他の行事と重なるなどで参加者が限られていたので、今年度は4月の大潮に近い日程を考えました。ご協力をお願いします。

日にち： 4月12日(土)
雨天順延 13日(日)

集合場所・時間

電車での参加 **JR 大貫駅改札口外 10:00**

車での参加 **大貫漁港脇ゴミ集積場 10:20**

クリーンハイク開始 **10:30**

コース **磯根海岸 右太い赤線部分**

「東京湾観音」近くの海岸まで往復
回収したゴミは集積場に持って行く

歩行時間 3時間程

持ち物 弁当（海岸で昼食） 飲み物
雨具 帽子 手袋 トング

参加方法

各会の自然保護委員が別紙申込用紙に記入し菅井まで報告してください。自然保護委員が決まっていない会では各会の理事が申し込んで下さい。

菅井 修 fa23475@wa3.so-net.ne.jp

申込締切：4月3日(木)

「大貫駅」への電車(往路)

*千葉から JR 内房線快速 君津行き
千葉 8:44→9:21 木更津 9:31→大貫 9:51

*館山方面から
館山 9:53→大貫 9:41

「大貫駅」からの電車(復路)

千葉方面	13:33	14:33	15:28
館山方面	13:46	14:46	15:59



広沢寺の岩場清掃集会 2025(第 23 回) The Final

ご協力をお願い

広沢寺の岩場を守る会 代表 安村淳

2000 年の林道岩場前のクライマーの路上駐車問題から起きました岩登り禁止問題から、その対策の一環として地元や地主さんとの信頼関係を構築する為に始めました清掃集会も、今回で 23 回を数え、林道の路上駐車問題はすでに解決しており、クライマーと地元との信頼関係の構築も出来ましたので、広沢寺の岩場を守る会メンバーの高齢化/後継者不足もあり、今回を持ちまして清掃集会は最終回とする事に致しました。

他の岩場を見ますと、

日和田山の岩場では、2024 年 5 月に死亡事故が起りましたが、その前が 2019 年、更にその前が 2015 年に死亡事故が起こっており、直近 10 年間で 3 件の死亡事故が起こるといふ異常な事態になっています。

また、阿寺の岩場では二子山の事故/訴訟問題から地主さんの意向で 2025 年 1 月から岩場の閉鎖が決まり、関係者が岩場の再開に努力をしていますが、なかなか難しいとも聞いています。

広沢寺の岩場では、今後クライマーがゴミを捨てない、木を切らない、焚火をしない等地元迷惑を掛けないように使って頂ければ岩登り禁止問題は起きない…と思いますが、死亡事故や岩場へ何回も救急車が行く等の事があれば、岩登り禁止問題が再燃する可能性は否定できませんので、是非安全クライミングを心掛けて下さい。

守る会は、問題が起きた時のクライマーと地元との調整窓口等として存続致しますので、『清掃集会2025(第 23 回) The Final』へのご協力共々、引き続き守る会へのご協力を頂ければ大変有難く思います。

2021 年に 4 回に亘り『オンライン講座』の講師をしていただきました安村淳氏が中心になり、『広沢寺の岩場』を利用するに当たり、地元の皆さんの信頼を得る為に『岩場周辺の清掃活動』等を精力的に展開してきました。今回は、活動の集大成(区切り)としての清掃活動を計画しています。

多くの会員の皆さんの参加をお願いします。(編集子)

広沢寺の岩場清掃集会 2025(第23回)

[The Final]

下記の通りに行いますので、広沢寺の岩場をご使用の皆様のご協力をお願い致します。 広沢寺の岩場を守る会

1、月日: 2025年3月2日(日) 9:00~12:00 [雨天実行]

2、集合: 3/2、8:30、広沢寺前市営駐車場

3、内容: ①岩場及び七沢地区の清掃、②地元から依頼の作業、他

4、持参品:軍手

[協力団体]

神奈川県山岳連盟、神奈川県勤労者山岳連盟、(公社)東京都山岳連盟

藤沢市山岳・スポーツライミング協会、厚木市山岳協会、

相模原市山岳協会、(株)ハイマウント、ポルダリングジムランブ、

日本登山インストラクターズ協会(JMIA)、七沢観光協会



2024年の集合写真



集積したゴミ

問合せ先:[広沢寺の岩場を守る会事務局] 東京都国立市富士見台 1-21、1-21-106 安村方

042-575-6131/mgoeilla@ma.ejnet.ne.jp

※ オリジナルポスターを、『ちばニュース』用に加工しています。(編集子)

バリ島サンライズ・トレッキング/インドネシア
やまたびの思い出

2015年5月13日(水)~19日(火) <6泊7日>

abiko

やった〜!
 頑張ったね!
 諦めずに登ってきて良かった!

ほんざあ〜い!
 アグン山本峰にて

- 3日連続、深夜に歩き始め、
 山頂にてご来光を拝みました!
- ① バトゥール山 1717m
 - ② アグン山本峰 3142m
 - ③ アグン山南峰 2900m

アグン山をバックに
 (バトゥール山山頂にて)

かんばあ〜い!



日の出に間に合うかな...?
 (アグン山南峰目指して)

<世界遺産>
 バトゥール湖 と バトゥール山



ケチャツ/ウルワツ寺院



アグン山の日の出
 バトゥール山山頂より

県連活動予定表

2月		
日付	曜日	県連活動予定
1	土	
2	日	
3	月	立春
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	建国記念の日
12	水	
13	木	役員会 (ZOOM) 19:00-21:00
14	金	
15	土	↑全国評議会13:00-
16	日	↓全国評議会 -12:00 全国海外委員会
17	月	
18	火	雨水
19	水	
20	木	理事会 (ZOOM) 19:00-21:00
21	金	
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	教育遭難対策委員会 (ZOOM) 振替休日
25	火	
26	水	
27	木	海外委員会/ZOOM 19:30-21:00
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

3月		
日付	曜日	県連活動予定
1	土	合同会議
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	啓蟄
6	木	
7	金	
8	土	ワンコイン講習会
9	日	
10	月	
11	火	全国海外委員会/ZOOM 19:30
12	水	
13	木	役員会 (ZOOM) 19:00-21:00
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	理事会 (ZOOM) 19:00-21:00 春分の日
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	教育遭難対策委員会 (ZOOM)
25	火	
26	水	
27	木	機関紙委員会/ZOOM 19:00-21:00
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

事故発生時の連絡先

各委員会は、25日までに予定を連絡ください。

◎事故一報は事故発生後1ヶ月以内に！

◎全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

県連教育遭難対策委員会

メール： itou2385@yahoo.co.jp (伊東)

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

(ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509)

千葉県勤労者山岳連盟

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 安彦秀夫

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>

事務所に常駐者はいません